

坂井市 越前織ストラップコンテスト

坂井市は、細巾織物「越前織」を使った自治体職員用ストラップのデザインコンテストで大賞に選ばれた21作品を発表した。4回目となった2018年度は、過去最多となる全国148自治体から応募があり、398作品が集まった。大賞の自治体には、受賞したデザインで作った越前織ストラップをそれぞれ100本ずつ順次贈っている。

応募最多、大賞21点

坂井市の地場産業「越前織」をPRするため、内閣府などの後援を受けて実施。作品は昨年12月から今年2月まで募った。2月に審査会を行い、北川貞一副市長や共催した丸岡ファイナンテックス協同組合の釣部勝理事長ら6人が、技術的な実現可能性や美しき、デザインのストーリー性などの観点で審査した。

北海道地震の災害復興に活用したいとする北海道のむかわ町や安平町、生産量日本一のこのほりをデザインした埼玉県加須市などが大賞に選ばれた。お守りや土産物として活用する自治体もあり、今年も大賞の一部自治体から製作の発注があるという。

市ティセールズ推進課は「複雑なデザインの作品が増えており、ストラップを実際に作る企業の技術向



ストラップのデザインコンテストで大賞に選ばれた作品の一部

むかわ町(北海道)など148自治体から作品

その他の受賞自治体は次の通り。
 岐阜県池田町、京都府宇治市、香川県宇多津町、同小豆島
 福岡県桂川町、同吉富町、山形県新庄市、兵庫県太子町、
 坂井市大正区、大阪府藤井寺市、岩手県田野畑村、愛媛県砥
 川町、千葉県流山市、長野県原村、埼玉県三郷市、青森県む
 つ市、宮崎県諸塚村、島根県安来市

越前織 ネームストラップ 全国21自治体に大賞

坂井市デザインコンテスト

全国各自治体の魅力発信をテーマに、坂井市特産の越前織を使ったネームストラップのデザインコンテストがあり、大賞に北海道むかわ町や青森県むつ市など二十一自治体の作品が選ば

れた。受賞自治体には、デザインを越前織で織り上げたストラップ百本が贈られる。越前織は京都西陣の漆をくむきめ細かい風合い、特長の細幅織物。坂井市

